

③メンタル・モデル ～自分で無意識に決めてつけていませんか?～

メンタル・モデルとは?

メンタル・モデルとは、私たちの心の奥深くに根ざした前提、一般理論、イメージまたはストーリーです。メンタル・モデルは、私たちがどのように現実の世界を解釈し、行動するかを決める際の思考の枠組みとして活用されます。

引用:小田理一郎(2017)『学習する組織』入門



「例年通り」に疑問をもたない
雰囲気があり、チームが活性化し
ない…。

ベテランの先生が意見を言う
と、その後、議論にならない。
気を遣っているのかな…。



チェック

自分や組織・チームを振り返ってみましょう!

- チームの結論を出すときに、先入観や偏見を除いて結論を出すようにしていますか?
- チームの戦略や意思決定、ルールについて、暗黙の前提があるかどうか意識していますか?
- 「この人は、〇〇だから言っても無理。」「あの人の言うことは間違いないから大丈夫。」と、先入観や固定観念で決めつけないようにしていますか?



ポイント



私たちのメンタル・モデルは、しばしば外界の情報の受け止め方に影響し、言動にまで反映します。つまり、私たちは、知らず知らずのうちに「例年通りだから問題ない。」「あの人には…。」「どうせ言っても…。」などの自分の思考の枠組み(メンタル・モデル)に縛られて行動していることがあります。それがチーム内に蔓延していることもあります。その前提をいったん脇に置いて(メンタル・モデルを保留)して、相手の話を聞いたり、伝えたり、状況を見直したりすることが有効です。

<自分や組織・チームにはどんなメンタル・モデルがあるか、書いてみましょう!>



新しい創造は自由な発想環境
から生まれます。それが結果的に
課題解決への近道となります。